

2024年2月環境活動報告

地球温暖化をはじめとする、地球を取り巻くいくつもの環境問題。近年は特に環境問題が深刻化し、SDGsの動きが加速し、パリ協定を定められるなど、世界が対策に動いています。今から450年～150年前の「江戸ではSDGsが実現していた？」という子供の教科書のタイトルを読んで江戸時代の暮らしに関心を持ち、現代社会に生かせる暮らしのヒントを探って見たいと思いました。



1. ゴミがお金に！

約260年続いた江戸時代。限られた資源を最大限に活用し、世界トップクラスの経済成長率を誇りました。今ではごみになるものも活用していました。木くずは燃料になるため錢湯に、紙くずは再生紙の原料に、排泄物でさえ肥料として買い取られていました。排せつ物の商品化で町じゅうに公衆トイレが設置され、100万人の大都市として、世界の中でもかなり衛生的な都市になりました。



2. 意識的に循環型社会

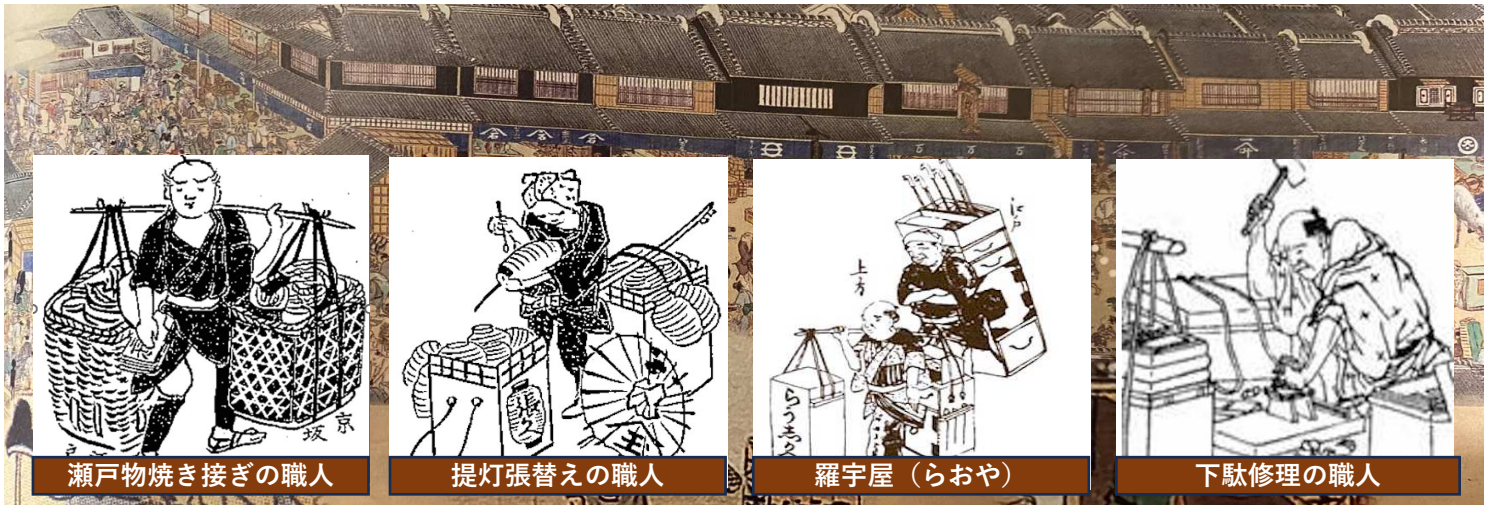
江戸時代の稲作では、収穫した藁の約20%を日用品づくりに、約50%を堆肥に、残りの約30%を燃料その他に充てていました。つまり、収穫した分を少しも廃棄することなく、100%活用していたのです。

人々は魚屋さんや八百屋さん
に買い物に行くのではなく、
行商人が家まで売りに来る魚、
豆腐、野菜、などをその都度
買っていたため、食材を一気に
買い溜める必要がありませんでした。



3. 「修理屋」が発達

江戸時代の人々は、物が壊れたからといってすぐに捨てません。壊れた物は、さまざまなジャンルの職人が修理してくれました。



ほかにも、切れ味の悪くなった刃物を研ぐ「研ぎ屋」、壊れた錠前を修理する「錠前直し」、磨り減った石臼の目を立て直す「臼の目立て」、算盤（そろばん）の修理や交換を行う「算盤直し」などなど、あらゆるものを修理してくれる職人が江戸の町にあふれていました。

確かに江戸時代と全く同じ暮らしをすることは難しいですが、いくつかの習慣を参考にし、クリーンな未来をつくっていけるような行動をとっていきたいと思います。

2月エコアクション活動実績

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	1,591.0 kwh/月	1,919.9 kwh	82.9%	未達成	節電未達成
節水	水道使用量削減	8.000 m ³ /月	6.757 m ³	118.4%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	19.00 Kg/月	9.13 Kg	208.1%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	80 %/月	81.8 %	102.3%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	6 件	200.0%	達成	